

凡 例

-  : ダム堤体
-  : 副ダム
-  : 貯水予定区域
-  : 対象事業実施区域
-  : 調査地域

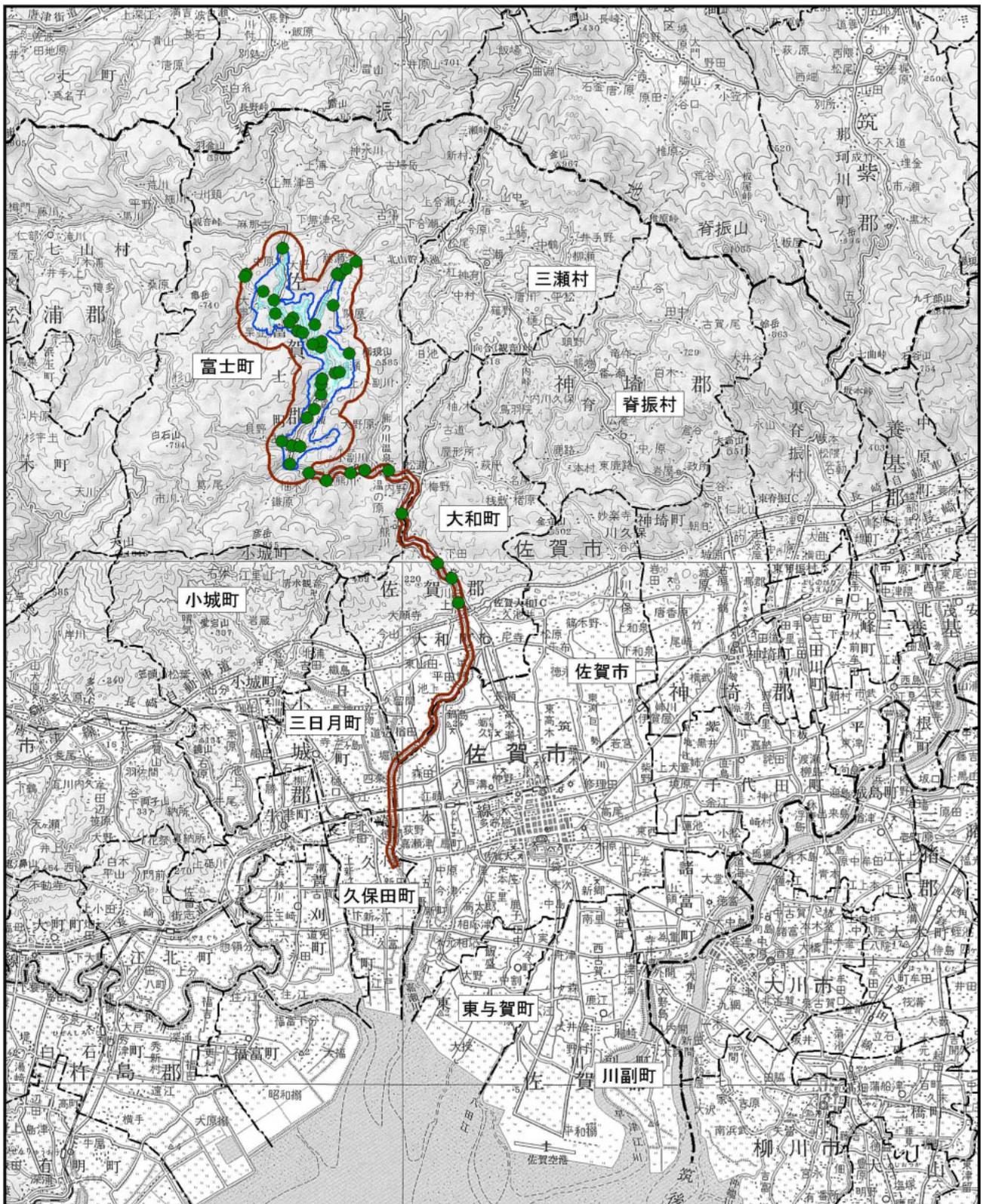


1:50,000

0 1 2km

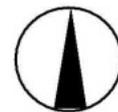
図4.1.5-2(9)
動物の重要な種(クロシジミ)
調査地域

注)クロシジミの保護の観点から
調査地点を記載していない。



凡 例

- : 貯水予定区域
- : 対象事業実施区域
- : 調査地域
- : 県界
- : 市町村界
- : 調査位置(定性採集)



1:200,000

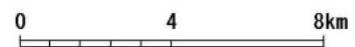


図4.1.5-2(10)
 動物の重要な種(モノアラガイ、
 アオハダトンボ(幼虫)、ムカシ
 トンボ(幼虫)、ホンサナエ(幼虫)、
 トゲナベツタムシ)
 調査地域及び調査地点

表 4.1.5-8 動物の重要な種の現地調査の内容

調査すべき情報		現地調査の内容	
哺乳類	コキクガシラコウモリ	分布、 生息の 状況、 生息環 境の状 況	本種の生息環境となる洞窟等の分布を聴取及び踏査により把握し、このうち横坑において、目視又は捕獲による生体の確認、バットディテクターによる超音波の確認により生息の状況を把握した。また、河川上及び林道にカスミ網を仕掛け、飛翔する個体を捕獲あるいはバットディテクターにより確認し、分布の把握に努めるとともに生息が確認された地点の環境について記録した。
鳥類	(希少猛禽類) ミサゴ、ハチクマ、 オオタカ、ツミ、 ハイタカ、サシバ、 チュウヒ、ハヤブサ		定位記録法により、これらの種の確認位置及び個体数を記録し、分布及び生息の状況の把握に努めた。また、現地を踏査することにより、これらの種の繁殖状況及び生息環境の状況の把握に努めた。
	ミゾゴイ、ヨタカ、 ブッポウソウ、 ヤイロチョウ、 サンコウチョウ		ミゾゴイ及びヨタカは夜間及び早朝、ブッポウソウは昼間、ヤイロチョウ及びサンコウチョウは早朝及び夕方、主に、鳴き声を確認することにより分布、生息の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。
	アオバズク、 フクロウ		夜間に鳴き声の確認等を行い、分布及び生息の状況の把握に努めた。また、昼間に踏査を行い、営巣木やペリット等の痕跡の確認により繁殖の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。
両生類	ブチサンショウウオ		沢筋を踏査し、水中の岩や倒木の下に隠れている幼生や、産卵のため沢筋周辺に集まっている成体を目視あるいは捕獲により確認し、分布、生息の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。
	ヤマアカガエル		山裾部を踏査し、成体や卵塊を目視あるいは捕獲により確認し、分布及び生息の状況の把握に努めた。また、産卵環境である水たまりの状況を記録した。
	カジカガエル		河川沿いを踏査し、成体や幼生を目視、鳴き声等で確認することにより、分布、生息の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。 また、ダム貯水予定区域内の嘉瀬川に生息するカジカガエルの幼生を、環境影響が想定されない地域に移動させる移植放流実験を行った。
魚類	スナヤツメ、 アリアケギバチ、 メダカ、カジカ		これらの種の生態特性、生息環境等を勘察し、生息の可能性のある地点において、投網、タモ網等を用いた捕獲により、分布、生息の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。なお、日没～夜間は刺網を仕掛け、アリアケギバチの生息確認に努めた。
昆虫類	クロシジミ		目視、見つけ捕り等による任意採集法により、クロシジミの分布及び生息の状況の把握に努めるとともに、雌個体の行動を観察し、産卵場所の把握に努めた。
底生動物	モノアラガイ、 アオハダトンボ(幼虫)、 ムカシトンボ(幼虫)、 ホンサナエ(幼虫)、 トゲナベブタムシ		これらの種の生態特性、生息環境等を勘察し、生息の可能性のある地点において、タモ網等を用いて採集することにより、分布、生息の状況及び生息環境の状況の把握に努めた。

表 4.1.5-9 動物の重要な種の現地調査の実施状況

調査すべき情報		調査期間・調査時期		現地調査手法
哺乳類	コキクガシラコウモリ	平成 14 年度	10 月 29 日～31 日、 1 月 17 日	目視確認等、バットディテクター、カスミ網
		平成 15 年度	6 月 30 日～7 月 2 日、 8 月 22 日～24 日、1 月 15 日、16 日	目視確認等、バットディテクター、カスミ網
鳥類	(希少猛禽類) ミサゴ、ハチクマ、 オオタカ、ツミ、 ハイタカ、サシバ、 チュウヒ、ハヤブサ	平成 13 年度	1 月 23 日～25 日、 2 月 20 日～22 日、 2 月 27 日～3 月 1 日、 3 月 18 日～20 日、	定位記録法、 任意観察
		平成 14 年度	5 月 14 日～17 日、 6 月 11 日～14 日、 7 月 9 日～12 日	定位記録法、 任意観察
		平成 15 年度	5 月 29 日～6 月 1 日、 6 月 17 日～20 日、 7 月 11 日～14 日	定位記録法、 任意観察
	ミゾゴイ、ヨタカ、 ブッポウソウ、 ヤイロチョウ、 サンコウチョウ	平成 15 年度	6 月 16 日～18 日	任意観察
	アオバズク、 フクロウ	平成 14 年度	11 月 11 日～14 日、 2 月 11 日～16 日、 3 月 11 日～15 日	任意観察
		平成 15 年度	5 月 27 日～6 月 2 日、 7 月 12 日～15 日、25 日～27 日	任意観察
両生類	ブチサンショウウオ	平成 15 年度	8 月 19 日～21 日、 3 月 10 日～12 日	捕獲確認等
	ヤマアカガエル	平成 15 年度	2 月 9 日、10 日	捕獲確認等
	カジカガエル	平成 14 年度	6 月 5 日～8 日	捕獲確認等
		平成 15 年度	6 月 25 日、 8 月 19 日～21 日	捕獲確認等
魚類	スナヤツメ、 アリアケギバチ、 メダカ、カジカ	平成 14 年度	5 月 20 日～23 日	捕獲確認等
昆虫類	クロシジミ	平成 12 年度	8 月 12 日、28 日	任意採集法
底生動物	モノアラガイ、 アオハダトンボ(幼虫)、 ムカシトンボ(幼虫)、 ホンサナエ(幼虫)、 トゲナベタムシ	平成 14 年度	5 月 20 日～23 日	定性採集